



●この説明書は、必ず組立て・取付けされる方にお渡してください。

■組立て・取付けされる方へのお願い

▲注意 …組立て・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	防水テープは、方立と防水補助シールとのすき間がふさがるように貼りましたか？	☐
2	バインドタッピンねじは、方立のタッピンホールにねじ止めしましたか？	☐

▲注意



- 漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・連窓時の組立ては、「連窓方立組立説明書」も併せて参照してください。
 - ・ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
 - ・左右の防水補助シールが重なるように貼ってください。
 - ・防水テープは、方立と防水補助シールとのすき間がふさがるように貼ってください。
 - ・バインドタッピンねじは、方立のタッピンホールにねじ止めしてください。
 - ・指定個所には必ずコーキング材（別途手配）を充てんしてください。
 - ・排水経路を確保するため、下キャップの前面部には、シーリングをしないでください。

■組立・取付上のお願い

- 必ず指定の組立ねじ・取付ねじを使用してください。
- 連窓後の取付けは、「連窓方立取付説明書」も併せて参照してください。
- 説明書および取付ねじセットは、必ず取付けされる方へお渡してください。

■部品一覧表

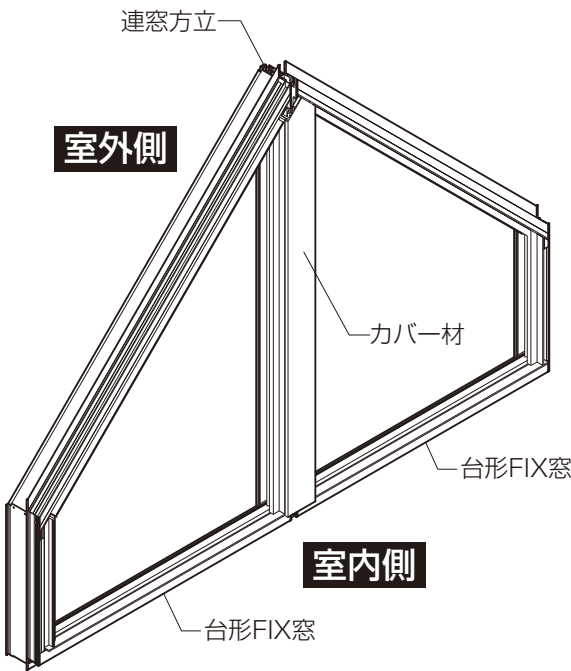
連結部品E(上キャップ)	防水テープ	バック材	防水補助シール
連結部品Eに同梱			
下部キャップ	防水テープB		
連窓方立に同梱			

■ねじ一覧表

イ	ロ	ハ	ニ	ホ
バインドタッピン ねじφ4×40	ナベタッピンねじ (1種) φ4×35	枠取付ねじ φ4×13 (ナベドリルねじ)	皿タッピンねじ φ4×12	ナベタッピンねじ φ4×20
亀座金 パッキン				
連結部品Eに同梱			連窓方立に同梱	

■組立順序

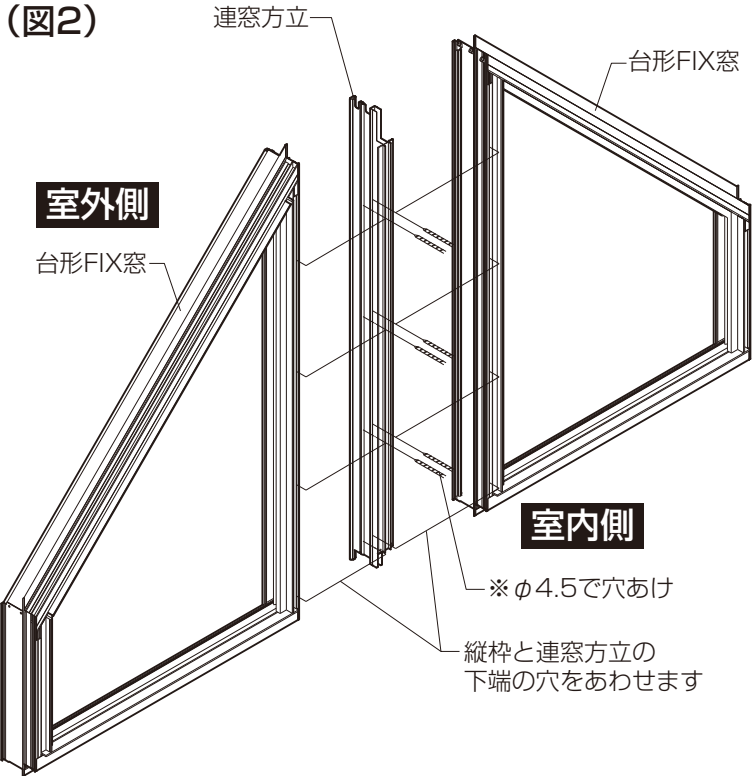
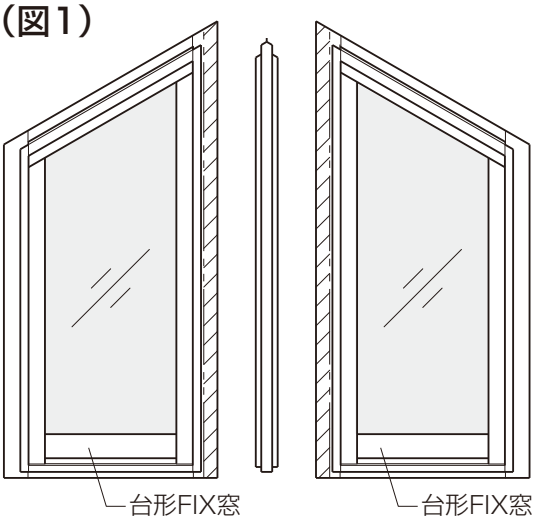
1 連窓方立との連結



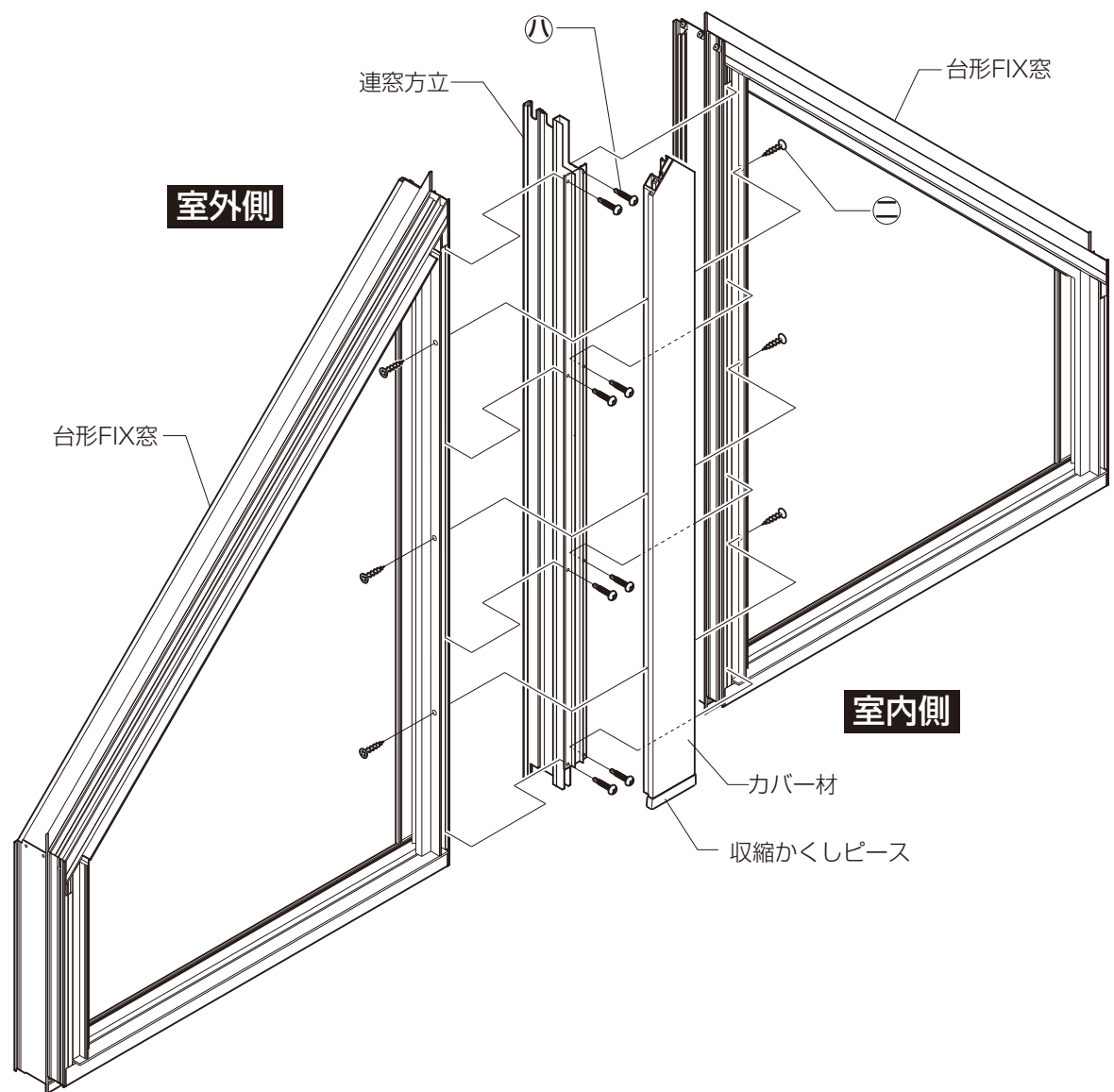
■組立詳細

1 連窓方立との連結

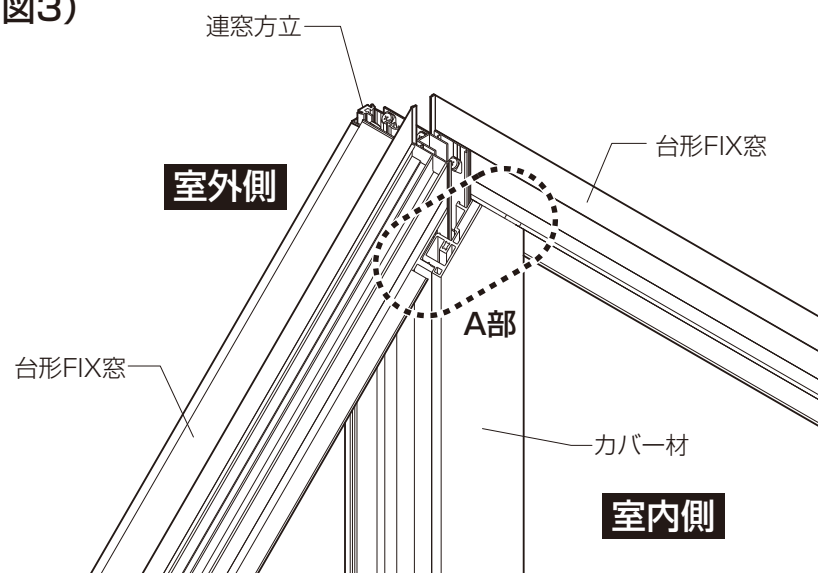
※連結する側の縦枠のフィンの 斜線 部をあらかじめ折り取っておきます。（図1）
※連窓方立との連結については「連窓方立180°組立説明書」も参照してください。
①台形FIXの縦枠と連窓方立の下端の穴の高さを合わせ、縦枠の穴と方立の長穴の位置が合うか（連結ができるか）を確認してください。
方立の長穴と縦枠の穴が合わない場合は、方立にφ4.5の穴をあけるかヤスリで長穴を広げ連結できるよう加工してください。（図2）



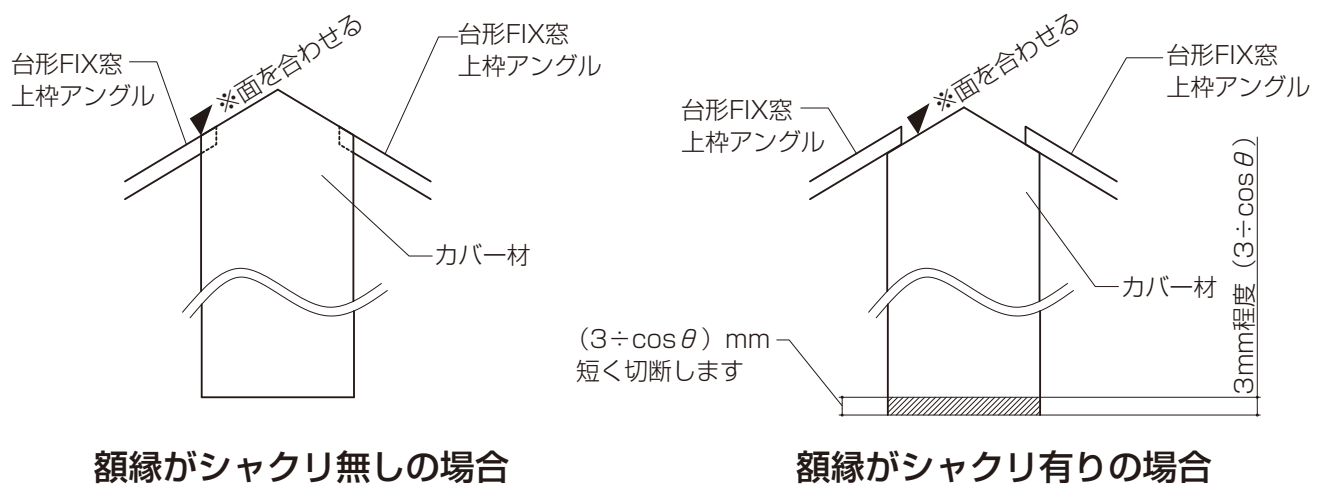
- ②連窓方立とサッシ本体の縦枠の下端の穴を合わせながらはめ込み、穴をすべて⑧ナベドリルねじでねじ止めます。
- ③カバー材の上部のラインと上枠のアングルのラインを合わせてカバー材をはめ込みます。（図3）
 ※額縁の種類によってカバー材を合わせる位置が異なります。シャクリ有りの額縁を使用する場合、カバー材の下端を約3mm（ $3 \div \cos \theta$ mm）短く切断してください。
- ④縦枠アングルの穴をすべて㊸皿タッピンねじでねじ止めます。



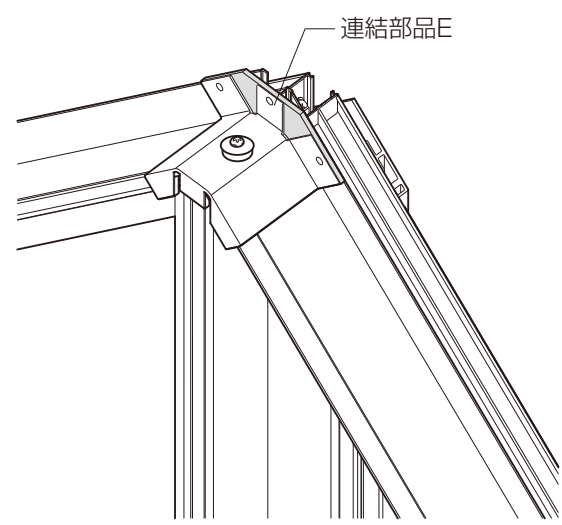
（図3）



■A部詳細図



2 連結部品Eおよび
下キャップの取付け

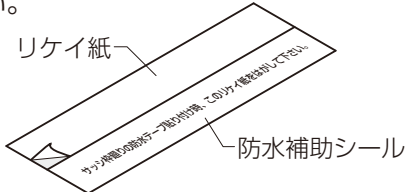


2 連結部品Eおよび下キャップの取付け

- ①取付基準に従い、釘打ちフィンの内側に防水補助シールを貼付けます。(図4)
 - ②取付基準に従い、釘打ちフィンの外側に防水テープを貼付けます。(図4)
 - ③取付基準に従い、バック材を貼付けます。(図4)
 - ④亀座金とパッキンを①バインドタッピンねじに組み込み、連結部品Eを固定します。(図5)
 - ⑤連結部下部については、連窓方立取付説明書をご参照ください。
- ※下キャップおよび取付ねじ（※ナベタッピンねじ）は連窓方立に同梱されています。
- ※連窓方立に同梱されている上キャップは使用しません。
- ⑥連結部品Eおよび下キャップ取付後、指定の箇所（部）にコーキング材（別途手配）を充てんしてください。(図6)

■防水補助シールの貼付け

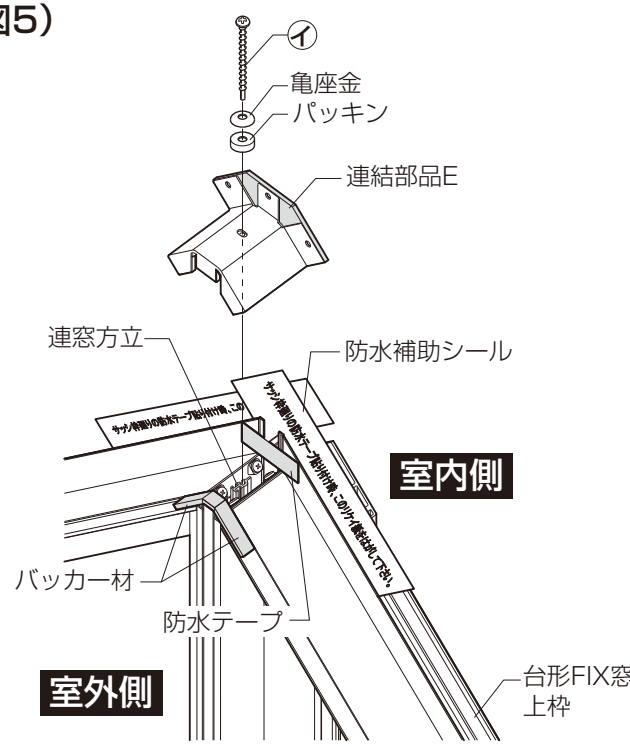
- 片側のリケイ紙を半分はがし、フィンの裏面に貼付けます。
- ※必ず文字の書いていない方をはがしてください。



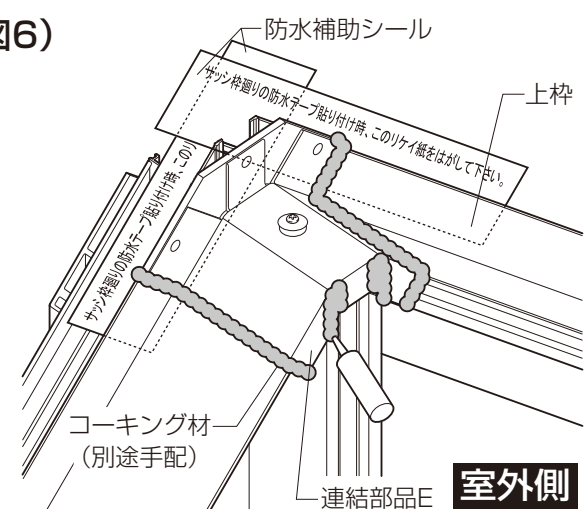
▲ 注 意

- バインドタッピンねじは、方立のタッピンホールにねじ止めしてください。漏水の原因になります。

(図5)



(図6)

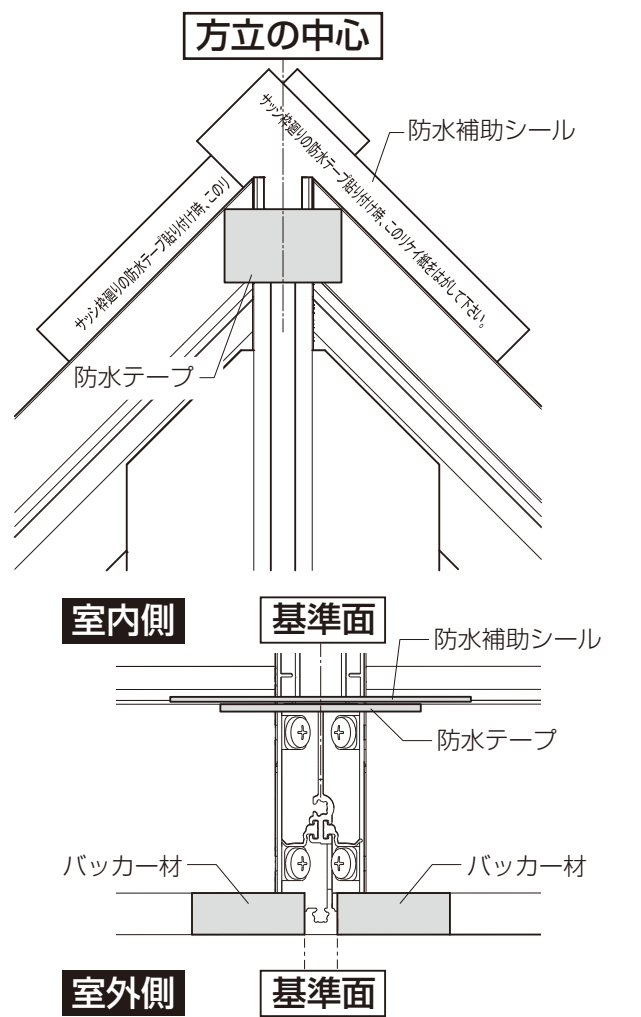
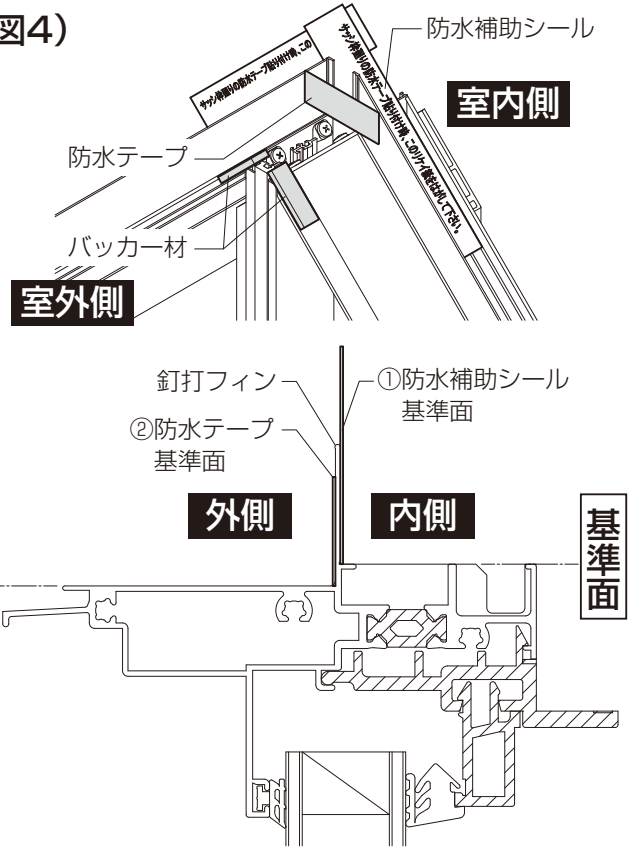


▲ 注 意



- 漏水の原因になりますので、下記事項をお守りください。
- ・左右の防水補助シールが重なるように貼ってください。
- ・防水テープは、方立と防水補助シールとのすき間がふさがるように貼ってください。

(図4)



▲ 注 意

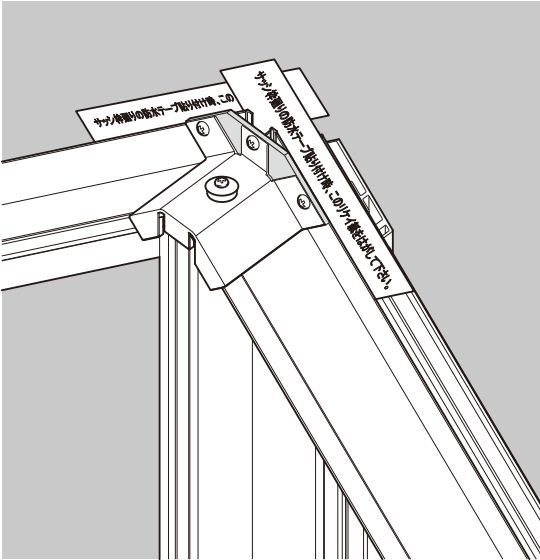


- 上・下キャップ取付後、指定箇所（部）にコーキング材（別途手配）を充てんしてください。漏水の原因になります。

..... コーキング材について

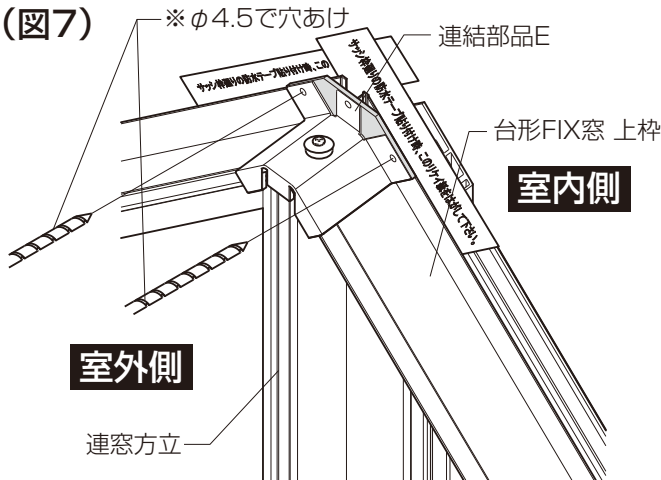
シリコン系コーキング材は使用しないでください。ポリサルファイド系の使用を推奨しますが、変成シリコン系を使用される場合は、防水テープおよび外壁とサッシとの取り合いに使用するコーキング材と付きにくい場合がありますのでコーキング材製造業者にご確認ください。

3 躯体への取付け



3 躯体への取付け

- ① 躯体への取付前に、連結部品Eの穴が枠と干渉する場合は、枠側にφ4.5の穴をあけてください。（図7）
- ② 連窓方立の取付説明書に従い、躯体への取付けを行います。



- ③ 躯体への取付後、㊦ナベタッピンねじを使用し、連結部品Eの穴より躯体とねじ固定してください。（図8）

